

行田市 市民活動

サポートセンター通信

～第74号～

発行 行田市市民活動サポートセンター

〒361-0052 埼玉県行田市本丸 5-10

(コミュニティセンターみずしろ1階ギャラリー内)

TEL 048-598-8616

Eメール gyodashi-saposen@bz04.plala.or.jp

開所日 毎週月・火・木～土 午前9時～午後5時

(コミュニティセンターみずしろの休館日及び日曜日を除く)

行田市市民活動やる気応援助成金

新たな助成区分「若者応援事業」を創設！

行田市市民活動やる気応援助成金の交付要綱が6月2日付けで新しくなり、これまでの助成区分「新たな取組応援事業」「スタート応援事業」に加え、「若者応援事業」の区分が創設されました。

◆若者応援事業

「若者応援事業」の助成は、若者が主体となり市内において自発的な意思で企画し、実施し、かつ、地域課題を解決し、又は地域活性化に貢献する事業が対象です。事業に直接的に係る経費を対象に、助成率10分の10で、助成金の上限額は5万円です。

「若者応援事業」の創設は、昨年度、行田市市民公益活動推進委員会がやる気応援助成金の制度改正を検討する中で浮上しました。シニア層による活動が活発な市民公益活動に、若者が活躍する機会を増やしていこうとする狙いがあります。

◆令和7年度やる気応援助成金

行田市市民活動やる気応援助成金の令和7年度募集要項は、市民活動サポートセンター（サポセン）等で入手できるほか、市ホームページでPDFファイルをダウンロードできます。締切は、1回目が9月6日（土）、2回目は12月6日（土）です。

サポセンでは助成金の検討段階から相談に応じ、申請書類の作成相談を承っておりますので、是非ご利用ください。

やる気応援助成金ホームページ



社員が栽培した野菜を子ども食堂へ寄付

株式会社ナスタから、行田子ども居場所ネットワークへの野菜贈呈式が行われました。富士見工業団地にある同社行田事業所では、市内の畑で社員の皆さんがじゃがいもや人参を栽培しており、育てた野菜を子ども食堂などで活用して欲しいと今回の寄付に至りました。同ネットワークの野口智子代表は「ネットワークの会員団体で分け合って、子ども食堂やフードパントリーなどで活用していきたい」と話しました。



助成金を探してみよう

冒頭で、行田市市民活動やる気応援助成金を紹介しましたが、助成事業は、公的なものから企業の社会貢献事業によるものまで様々です。また、その対象事業、助成金額、助成率も様々です。通年で申請できるものがあれば、年度はじめの募集しかないものもあります。

活動資金の調達方法のひとつとして役に立つ助成金ですが、申請が難解なイメージがあり検討さえしていない方が多いかもしれません。申請書類で求められているのは、助成金を利用して行おうとする事業の説明と団体の説明ですから、事業年度ごとに予算と活動計画を立て、総括として決算と活動報告が出来ている団体にはハードルは高くないと思われます。

下に助成金情報のまとめサイト、右にいくつかの助成事業の例を挙げていますので、ぜひご覧になってみて下さい。

埼玉県 NPO 情報ステーション
NPO コバトンびん
・助成金情報のまとめなど



国立青少年教育振興機構
・子どもゆめ基金



埼玉県文化振興基金助成事業
・次世代未来サポート
・伝統芸能サポート ・活動成果サポート
・社会とつながる文化芸術活動助成



埼玉県社会福祉協議会
・こども食堂・未来応援基金
・ふれあいの詩基金
・ひまわり基金



行田市社会福祉協議会
・地域福祉活動助成金



サイサン環境保全基金



コープみらい社会活動財団
・くらしと地域づくり助成



行田市市民公益活動登録団体

新規登録団体のご紹介

NEW

〔団体名〕 行田フライ・ゼリーフライ友の会

〔会員数〕 30 人

〔活動内容〕 行田市の郷土料理であるフライ・ゼリーフライの伝統と文化と魅力を PR します。

〔活動拠点〕 行田市内

〔活動日〕 不定期

イベント出店のほか、街ゼミなどにも積極的に参加し、行田市の次世代を担う子どもたちや市民の皆様に行田フライ・ゼリーフライの味や作り方を伝え次の世代へと繋いでいく活動をしていきます。



行田市市民公益活動登録団体

団体名変更のお知らせ

〔 **新** 団体名〕 かぼちゃの国

〔旧団体名〕 山羊の王国

〔 **新** 団体名〕 がんサポートふらっとカフェ・行田

〔旧団体名〕 がんサポートふらっとカフェ

行田市市民公益活動登録団体 一覧 >>>

